

JAEF REPORT

令和6年7月5日

年4回発行(1,4,7,10月)

(公財)日本自動車教育振興財団 活動報告

【目次】

- ◆ 理事会、評議員会を実施
- ◆ 令和6年度自動車技術教育用教材提供 応募状況(中間報告)
- ◆ 41都道府県の研修会(202件)に講師を派遣

- ◆ 令和6年度JAEF研修会の参加者を募集
- ◆ 動画学習サイト「早わかり!クルマ塾」に2本のコンテンツ掲載

理事会、評議員会を実施

5月から6月にかけて、下表のとおり理事会・定時評議員会が相次いで開催され、令和5年度事業報告・決算や役員体制が承認された。

本年は評議員の改選期に当たり、評議員21名が選任(重任16名、新任5名)された。新たな役員体制については、別紙の「理事・監事・評議員名簿」をご参照下さい。

会議体 (開催日)	主な議案	開催場所
第32回理事会 (5月21日)	・令和5年度事業報告・決算 ・第13回定時評議員会の開催	芝パークホテル
第13回評議員会 (6月11日)	・令和5年度事業報告・決算 ・評議員の選任	経団連会館

令和5年度は、新型コロナウイルス感染が収束したのを機に、財団事業の柱である技術教育支援事業の更なる強化に努め、「ものづくり人材」の育成支援、自動車整備業務に対する理解促進を行い、これまでにない成果を出すことができた。

令和5年度事業報告の概要

技術教育 支援事業

- 教材提供活動・技術系講師派遣活動において、過去最高を達成
- 教材贈呈式・教育懇談会では販売店店舗・工場の見学を取り入れ自動車整備の現場理解促進が図れた

研修事業

- コロナ禍以前に近い水準で教員研修会と講師派遣を企画展開
- JMS高等学校向け見学会を追加で実施。申込校数は前回のTMSを上回り、高校生の関心の高さが確認出来た

調査・普及 啓発事業

- 予算制約により調査活動・動画作成を一部縮小
- HPの全面改訂、各種リーフレットの作成などにより、財団情報を入手する上での利便性を高めた

なお、令和5年度事業報告の概要をまとめた動画を作成しておりますので、是非ご覧いただき(右のQRコードよりアクセス)、財団活動により一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



…5~6月

財団運営

また、第13回定時評議員会の終了後、評議員や理事、監事、関係団体・企業の皆様にお集まりいただき懇親会を開催した。懇親会の冒頭、内山田理事長より、「令和6年度は機械科・自動車科のみならず電気・電子科の生徒まで電動車両の仕組みが学べる教材『電動ミニカートキット』を提供メニューに追加した」と、「自動車技術に関する出前授業の活用促進のため、利用校への取材に基づいたPR動画の制作・公開を行う」など、新たな取り組みが紹介された。

財団は、常に「志と挑戦」の精神で今後とも高等学校における自動車技術教育、交通社会教育の支援に取り組んでいく所存です。皆様方のご支援、ご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



▲第32回理事会の様子



▲第13回評議員会終了後の懇親会の様子

INFORMATION

7~9月予定

- 18道府県の研修会(35件)に講師を派遣予定 7~9月
- 審査委員会開催、令和6年度教材提供校を決定 8月下旬
- JAEF研修会を開催 7~8月
- 自動車技術教育イベントを支援 8月

令和6年度自動車技術教育用教材提供 応募状況(中間報告)

……6/1開始(7/16締切)

技術教育

財団は、技術教育支援事業の一環として、今年度対象の15府県(以下参照)で自動車技術教育を実施している313校へ6月初めに応募要項を送付した。

今年度は、クルマの電動化が進行する中、自動車・機械系、電気・電子系の学科間で横断的に協力しながら、電気自動車の構造に加えモーターの分解組立・プログラミングに関して理解を深めることができる新教材「EVミニカート・キット」を新設。「A」、「B」2つのコースを用意した。Aコースはカート車体だけのセットで、自動車・機械系生徒向けに、車体の分解組立を通して、電気自動車の構造を学ぶものとなっている。Bコースは、カート車体にブラシレスモーターとインバーターキット(3セット)を加えたもので、電気系生徒がモーターの分解組立、プログラミングを学べるものとなっている。また、これまで視聴覚教材として提供してきた「自動車の基礎・電気」

(DVD)は約30年前に制作したものであり、今般内容を一新すると共にICT化(生徒1人1台タブレット端末普及)が進む教育現場の変化に対応して、授業での活用はもちろん、生徒が自身のタブレット端末で自習用としても活用できるようにした。関係教育団体に対し応募促進の協力を依頼するなどして、幅広い学科からの応募を目指している。

6月27日現在で計25校から応募があり、上述の新教材「EVミニカート・キット」の提供希望は計6校となっている。その内3校がBコースを選択しており、自動車・機械系及び電気・電子系の両学科で活用する計画としている。

7月16日まで応募を受け付ける予定で、今後も提供対象校に対する応募促進に注力していく。最終的な提供校および支援内容は、8月21日に開催する審査委員会(加藤秀次委員長)で、厳正な審査・選考により決定する予定である。

また、提供教材内容の確定後に提供対象各地で行う教材目録贈呈式・教育懇談会については、前年度より自動車販売会社で開催する機会を増やし、整備工場などの見学を通じ就業環境に関する的確な理解を促すこととしている。前年度は計5県で実施し、参加した先生からは「工場を見学をして認識と違っていた。工場内はエアコンが完備、従業員控室も綺麗、女性でも働きやすい職場になっている。」など多くの気付きがあり、有益な機会であったとの評価を得た。今年度は贈呈対象となる15府県のうち、7地域程度での開催を目指している。

贈呈式及び教育懇談会の開催については、対象となる地域の自販連各支部(自動車教育推進協議会)の事情に鑑み、緊密にご相談しながら進めさせていただきます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



▲広島日産自動車(株)での整備工場見学の様子(令和5年度開催)

【令和6年度 公募地域(15府県313校)での提供対象校数】

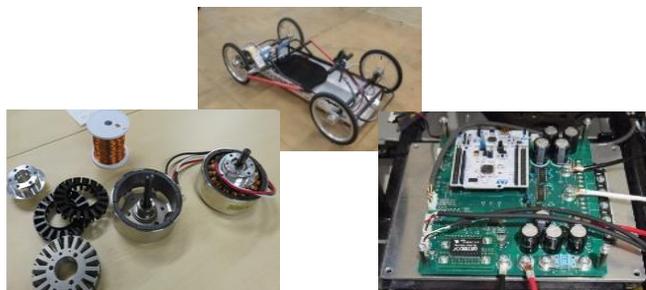
対象地域	青森県	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	静岡県	愛知県	岐阜県
対象校数	16	19	19	24	16	23	40	16

対象地域	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	合計
対象校数	16	13	12	50	33	6	10	313

【令和6年度 新設教材「EVミニカート・キット」】



▲Aコース : カート車体1台



▲Bコース : カート車体1台+
ブラシレスモーター&インバーターキット(3セット)

【令和6年度 リニューアルした動画教材「自動車の基礎・電気」】



▲自動車の基礎 Vol 01
エンジン概要



▲自動車の基礎 Vol 03
マニュアルトランスミッション



▲自動車の基礎 Vol 04
安全装置

41都道府県の研修会(202件)に講師を派遣

… 4～6月

研修

令和6年度4～6月の講師派遣実績は、開催件数202件（前年同期差 -2件）、参加者67,746名（同 -957名）で、件数・参加者数共に大幅増加した昨年度並みとなった。

今年度活用促進に注力している「自動車技術」分野については7件（同 +3件）の開催となり、申込受付開始時期の前倒し等の取り組みの成果が表れつつある。

全202件の分野別内訳は以下の通り。

分野	件数	対象
1)自動車技術	7件	主に工業系の生徒
2)交通安全	195件	生徒指導担当の先生並びに生徒

尚、研修会メニュー（分野）別詳細は以下の通り。

1)自動車技術：計7件（最新技術：生徒対象）

当研修は最新の電動車両の見学などを通じ、先進技術に直接触れることができる出前授業。ハイブリッド車や燃料電池自動車などについて、電気科をはじめとした幅広い学科の生徒でもわかりやすいよう解説している。

参加した生徒、先生からは「電気自動車の技術がここまで進んでいると知って驚いた。」「他学科や他学年の生徒・教師も見学に来て大変盛り上がった。」と高い評価を得た。



▲富山県立高岡工芸高等学校での講師派遣（自動車技術）

尚、6月17日に行われた神奈川県立向の岡工業高等学校の研修会については、「自動車技術」講師派遣の更なる利用拡大を図るためのPR動画制作に、財団にて取材撮影を実施した。当PR動画については、今後の他校での取材撮影も経て、今年度上期末までに制作・公開を予定している。



▲神奈川県立向の岡工業高等学校での講師派遣（自動車技術）

2)交通安全：計195件

ヘルメット着用の重要性	65
夜間の交通安全対策	9
ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	108
交通事故のリスクと損害保険の役割	2
自転車事故のリスクと損害保険の役割	10
二輪車（バイク）の交通安全	1

今年度より交通安全分野の新規研修メニューとして設定した「ヘルメット着用の重要性」の実施件数が65件となり、同分野全体の3分の1を占めた。当メニューは、令和5年4月1日の改正道路交通法施行により、自転車で走行する際のヘルメット着用が努力義務化されたことを受け新設したもので、教育現場のニーズを的確に捉えることができたといえる。

また、当分野の研修会に対する高評価率※は99%（前年同期差 +3pp）に達し、極めて良好な結果となっている。

この高評価の要因は、講師の方々による以下に記載する丁寧な対応・工夫にある。

- ①入念な事前打合せ
学校側のニーズを把握しつつ、生徒への研修効果を高められるよう実施する事前打合せ
- ②インパクトある教材活用
ドライバーから自転車、歩行者がどの様に見られているか、視点を変えて理解を促進
- ③主体的参加の工夫
クイズ形式の取入れや対話方式の研修会により、生徒が主体的に考え参加する研修会の実施

※高評価率：実施報告書で5段階評価中「大変良かった」「良かった」の合計



▲岐阜県立岐阜高等学校での講師派遣（交通安全）

講師については、全202件のうち、199件を地元の自動車教育推進協議会メンバーにご担当いただいた。

講師派遣にご協力いただいた関係団体・企業の皆様には紙面をお借りして深謝申し上げます。

令和6年度JAEF研修会の参加者を募集

…5/17～

研修

財団は令和6年度JAEF研修会の募集について、全国の高等学校約6,000校、当財団メールマガジンに登録された先生方への案内、及びSNSを用いた情報発信を行った。また、「学びのイノベーションプラットフォーム(PLU)」*のウェブサイトでも告知し、幅広く参加を募った。本年度は下表の通り計3回の開催を予定している。

今年度も文部科学省、および全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会、日本私立中学高等学校連合会、全国総合学科高等学校長協会、全国公民科・社会科教育研究会の後援・協賛を得ており、財団は全国の高等学校の先生方に積極的な参加を呼びかけている。

JAEF研修会とは、「交通」「環境」「交通安全」などをテーマとして、全国の高校教諭を対象に実施する財団主催の研修会である。平成4年のスタート以来、関係団体・企業のご協力により、各界の専門家による講演会と施設見学や体験実習などをセットにして行い、参加した先生方から高い評価を得ている。

*産学官公教が連携しながらSTEAM教育を推進する組織で、教材のライブラリーや同教育を支える人材のネットワーク等の整備を行っている。



▲令和5年度 第1回JAEF研修会の様子

【令和6年度JAEF研修会開催計画】

回	開催日	会場	テーマ・講演・講師	募集人数
1	7/30 (火)	モビリティリゾートもてぎ ＜栃木県茂木町＞	－交通安全教育手法に資する講演と交通安全トレーニング実習－ ～講演と実習、Honda Collection Hallなどの見学～ 【講演】「生徒指導に資する交通安全教育手法」 講師：交通教育センターもてぎ 【見学】安全運転実習/Honda Collection Hall（本年3月リニューアルオープン）見学 他	30名
2	8/7 (水)	スズキ(株) ＜静岡県浜松市・湖西市＞	－軽自動車の歴史と技術開発について学ぶ－ ～講演とスズキ歴史館・スズキ湖西工場の見学～ 【講演】「軽自動車の歴史と技術開発」 講師：スズキ(株) 【見学】スズキ歴史館/湖西工場	30名
3	8/9 (金)	日本自動車会館 ＜東京都港区＞	－自転車・高校生から対象「交通反則通告制度（青切符）」について－ －「交通安全教育ガイドライン」の方向性－ ～警察庁 有識者検討会の委員である、自活研 小林理事長による講演と意見交換～ 【講演】①「自転車 16歳以上対象 交通反則通告制度（青切符）」について ②「交通安全教育ガイドライン」の方向性 ③意見交換 講師：NPO法人 自転車活用推進研究会 理事長 小林 成基 氏	40名

動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に2本のコンテンツ掲載 ……4、5月

普及啓発

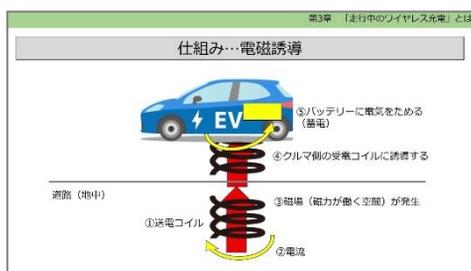
財団は動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」にて、計2本のコンテンツを財団ホームページに掲載した。4月に電気自動車のワイヤレス充電に関する調査報告、5月には都市・地方における交通社会問題などに対し、クルマの技術進歩がどのように貢献できるかをテーマとした動画の2回目（後編）を公開した。

本年度もコンテンツの追加、及び視聴促進に注力しながら、自動車教育支援の更なる強化、クルマへの関心・理解向上を図っていく。

（以下、動画タイトルに続く < > は掲載日）。

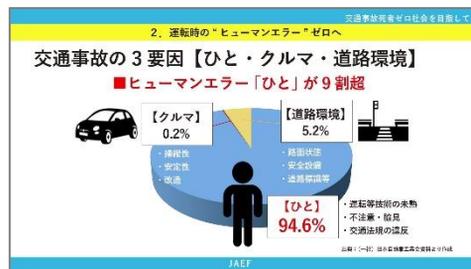
➤ 『走行中のワイヤレス充電は電気自動車の普及を促進するか？』<4/18>

電気自動車の普及の現状や課題を整理しながら、ワイヤレス充電の実証実験の内容とその将来性を紹介。



➤ 『社会と自動車の調和〔2〕交通事故死者ゼロ社会を目指して』<5/9>

クルマ社会における永遠の課題“死者数ゼロ”に向けた、交通事故の主要因であるヒューマンエラーを減らす先進安全技術、事故発生時の救急体制・システムについて解説。



※「早わかり！クルマ塾」は以下URL、QRコードよりご覧いただけます。

<https://jaef.or.jp/6-kurumajuku/>

